



オトコの別腹

志茂田景樹さん

「麻布かりんと」の 麻布かりんと

かりんとうを50種類くらい売っている専門店が近所にあるんです。知人の個展のオープニングパーティーに何を持っていこうかなと思ったとき、このかりんとうを買っていったら喜ばれた。黒糖独特の苦みのある甘みに、意外とさっぱり感もあって、ビールやワインのつまみにいいでしょ。焼酎のお湯割りと合わせてもおかしくない。気がついたらその場で自分が一番食べてましたね。僕が育った武蔵野にはいくつか駄菓子屋があって、小学生のころ、よくかりんとうを買っていました。白砂糖じゃない、黒糖の甘みは子供のころの味。駄菓子屋のクジをひく時のちよっとしたワクワク感も、この味と一緒に思い出すというかね。

シニア世代には懐かしい味なんだけど、ここのお店で並んでいるのは若い人がほとんど。もしかしたら若い人にとって、かりんとうって新しい味なのかもしれないね。



◆東京都港区麻布十番1の7の9 (☎03・5785・5388)。麻布かりんと(黒糖) 1袋360円。 画10時半〜画8時。第2回休み。

しもだ・かげき 作家、タレント。15日画、著書『なんで!? 納得できない…14歳のきみたちへ』を刊行。